

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 情報システム学研究科 社会知能情報学専攻 博士前期課程		
氏 名	窪田 収一	学籍番号	0751011
論 文 題 目	オンラインショップにおける家電製品の環境情報表示に関する研究		
<p>要 旨</p> <p>近年、消費者の環境意識の高まりと特定家庭用機器再商品化法、再生資源利用促進法などの法律による規制によって、企業による環境配慮型製品の開発が推進されている。環境配慮型製品は、見た目だけでは判断することが困難なため、エコマークをはじめとした環境ラベルなどの表示によって、差別化が図られている。しかし、インターネット上のショッピングサイトにおいては、通常の店舗と比較して製品の環境配慮に関する情報が著しく少ないことが先行研究によって明らかにされている。</p> <p>本研究は、オンラインショップにおいて販売されている家電主要四品目(冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビ)を対象として、オンラインショップ運営企業および複数のオンラインショップが出店するオンラインモールを運営する企業に対してアンケート調査を行うことで、環境情報表示の現状と問題点を把握し、改善策を提案することを目的とした。</p> <p>本研究で行ったアンケート調査結果を基に、運営形態、従業員数、環境報告書の発行及びISO14001の取得状況に着目して詳細な分析を行い、既存の調査結果から明らかになった消費者意識と比較し、企業活動と消費者意識との相違について分析した。</p> <p>これらの分析の結果、以下の4つの問題点を抽出した。</p> <ol style="list-style-type: none">① 「省エネ」に比べて「3R」「化学物質」の情報が少ない問題② 環境情報の提供に要するコストに関する問題③ オンラインショップにおいて環境ラベルの表示が少ない問題④ 省エネ表示が義務付けられているにも関わらず省エネラベルなどの表示が少ない問題 <p>そして、これらの問題に対して、それぞれ以下のように改善策を提案した。</p> <ol style="list-style-type: none">① 「3R」「化学物質」に関する情報を含む環境ラベルの策定② 環境情報を集約した環境ラベルの利用によるコスト削減 メーカー、家電製品販売企業、消費者間の環境情報提供コストの分担③ オンラインショップ運営企業に対する環境ラベル活用の促進④ オンラインショップ運営企業への法的規則の周知			